

市立芦屋病院 嚥下栄養外来を受診された患者様へ

市立芦屋病院 嚥下栄養外来では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	骨格筋と咽頭腔との関連
研究責任者 (所属)	市立芦屋病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 今井教仁
研究の対象者	市立芦屋病院 嚥下栄養外来を受診された患者
研究協力をお願い	近年急速に進展する高齢化に伴い、骨格筋の筋肉量の減少や筋力低下によって生じる摂食嚥下障害が注目されてきております。骨格筋の変化に伴う摂食嚥下障害の原因には、舌の筋肉や舌骨上筋群といった筋肉が関与することがこれまで報告されています。一方で、これら舌の筋肉や舌骨上筋群と同じように食物を喉から食道に移送する為に活動する、咽頭の筋肉と骨格筋の関連については現在も分かっておりません。そこで、この研究では骨格筋と頸部MRIで測定した咽頭周囲の筋肉との関連性について調査することを目的としています。 今回の調査により骨格筋と咽頭の筋肉との関連が明らかとなれば、摂食嚥下障害の病態をより正確に理解することが可能となり、適切な治療の一助となることが期待できます。本研究における情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって研究に関する事項を公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。
調査データの該当期間	2019年12月1日～2022年3月31日
研究に使用する情報	①年齢、②性別、③握力、④体組成分析の結果（骨格筋指数）⑤頸部MRIの画像データを使用致します。

研究の方法	骨格筋指数および握力が頸部MRIから解析された咽頭腔の面積および咽頭後壁厚とどのような関連性があるのか検討致します。
他機関への情報提供	他機関への情報提供は致しません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の個人を直接特定できる情報は削除致します。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用致しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	担当者：市立芦屋病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 今井教仁 電話番号：(0797) 31-2156